

理論編

• アセットアロケーションの基本方針	4
• アセットアロケーションの期待収益率とリスク	5
• アセットアロケーションの設計に必要な数値	6
• 各資産の期待収益率の計算方法	7
• 資産運用におけるリスクとは	8
• リスク(ブレ幅)が小さい方が良いのはなぜ?	9
• 違った値動きをする資産を組み合わせるとリスクは小さくできる	10
• 大幅な下落、上昇時の収益率の振れ幅の目安	11
• 期待収益率・標準偏差・相関係数	12
• 期待収益率とリスクの目安	13
• 各資産の組入銘柄の考え方(1)	14
• 各資産の組入銘柄の考え方(2)	15
• ポートフォリオ作成手順	16
• 損失許容額の決定方法	17
• リスク・リターンの選択と資産配分比率の決定	18
• 投資金額の決定	19
• 投資タイミングの決定	20
• 運用開始後のリバランスについて	21

ご提案

• アセットアロケーションの作成手順の確認	23
• 資産運用設計の前提条件-1	24
• 資産運用設計の前提条件-2	25
• 資産運用設計の前提条件-3	26
• 資産配分のモデルケース-1	27
• 資産配分のモデルケース-2	28
• 商品説明-1 個人向け国債	29
• 商品説明-2 株式投資信託	30
• 商品説明-3 オープン投資信託とETF(上場投資信託)の違い	31
• 商品説明-4 個別商品(株式投資信託)	32
• 商品説明-5 国内株式指数の説明	33
• 商品説明-6 先進国株式・新興国株式指数の説明	34
• オープン投資信託とETFの注文発注について	35
• 今後の余裕資金の運用方法-1 6か月又は1年程度貯めてリバランス(資産配分)に利用する	36
• 今後の余裕資金の運用方法-2 積立投資	37
• リレー投資(投信積立からETFへ)	38
• 老後資金用として確定拠出年金を利用する	39
• 注意事項	40